

授業開講年度	2025	開講キャンパス	さくら夙川キャンパス
開講学期	春学期	開講曜日・時限	金曜2限
科目コード	ZG0250	授業コード	40258
レベルナンバー		配当年次	カリキュラムにより異なります。
授業科目名	観光学		
担当教員名【代表】	海老 良平		
担当教員名			
授業形態			
授業方法			
単位数	2.0		
ディプロマポイント評価観点(※本科目がどの項目に該当しているかを示す)			
Knowing			
(知識とリテラシー)	教養と専門知識【DP1】		知識・情報を活用する力【DP2】
Doing			
(実践力)	国際感覚【DP3】		対人基礎力【DP4】
	対自己基礎力【DP5】		対課題基礎力【DP6】
Being			
(信念と志)	豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】		社会的責任【DP8】
授業の目的	コロナ禍によって世界の観光市場は大きな影響を受けたものの、トレンドとしては21世紀の成長分野として観光が位置付けられていることもあって、近年、観光をめぐる学術的な研究が注目されている。この授業は観光学で扱われるテーマに沿って、観光とは何かを学習し、そこから見える現代社会の課題等について考えることを目的とする。		
到達目標	授業によって習得した観光に関する知識を正しく理解し、その知識によって、現代の観光をめぐる様々な課題について考察した上で、自らの考えを述べるができるようになる。		
授業概要	観光学とは、社会現象としての観光を多面的に分析、研究する学問である。この授業では歴史、産業、政策、現代観光の4つの視点を通して観光の全体像を理解し、合わせて現代社会における観光の役割について考えられる力を養う。なお、観光とは、刻々と新たな変化や課題が現れるものでもあるので、日常の観光にまつわるニュースや話題に関心を持つことが、履修者には求められる。		
課題レポート等	各単元のまとめレポートの提出を課す。		
フィードバックの方法について	授業レポートのフィードバック(受講者が多い場合は総評)		
授業時間外学習	○各授業内容の予習・復習 ○授業レポートの作成		
授業回数	主題	概要	授業時間外学習(学習内容・時間)
01	オリエンテーション	授業の概要、進め方について説明する。	
02	観光学の扉	観光学をめぐる概念や考え方について学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間)
03	旅と観光の歴史(1)江戸時代の旅	江戸時代の日本人の旅の歴史を学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの準備(2時間)
04	旅と観光の歴史(2)戦後日本の観光	戦後の社会の大衆化と観光の発展を学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの準備(2時間)
05	旅と観光の歴史(3)社会の情報化と観光	情報社会の到来における観光の変化について学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの作成(2時間)
06	観光産業論(1)旅行業	旅行業の概要、市場環境や業界の現状について学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの準備(2時間)
07	観光産業論(2)宿泊産業	宿泊産業(ホテル・旅館)の概要、市場環境や業界の現状について学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの準備(2時間)
08	観光産業論(3)運輸業	運輸業(航空・鉄道)の概要、市場環境や業界の現状について学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの準備(2時間)
09	観光産業論(4)レジャー産業	レジャー産業の概要、市場環境や業界の現状について学ぶ。	授業内容の予習・復習(2時間) 単元まとめレポートの作成(2時間)

10	観光政策論 (1) 観光市場の概況	観光白書を使いながら、世界と日本の観光市場の概況について学ぶ。	授業内容の予習・復習 (2時間) 単元まとめレポートの準備 (2時間)
11	観光政策論 (2) 日本と諸外国の観光政策	世界と日本の観光政策の現状について学ぶ。	授業内容の予習・復習 (2時間) 単元まとめレポートの準備 (2時間)
12	観光政策論 (3) 地域活性化と観光	地域の観光政策の現状について学ぶ。	授業内容の予習・復習 (2時間) 単元まとめレポートの作成 (2時間)
13	現代観光論 (1) コンテンツツーリズム	アニメの聖地巡礼やロケ地観光などのコンテンツツーリズムの概要と現状を学ぶ。	授業内容の予習・復習 (2時間) 単元まとめレポートの準備 (2時間)
14	現代観光論 (2) フードツーリズム	地域の食文化をめぐるツーリズムと地域活性化について学ぶ。	授業内容の予習・復習 (2時間) 単元まとめレポートの作成 (2時間)
15	総括	授業全体をまとめる。	
成績評価の基準と方法		<p>○評価基準：A評価90%以上、B評価80%以上89%以下、C評価70%以上79%以下、D評価60%以上69%以下、F評価60%未満とする。</p> <p>○評価方法：各単元をまとめた授業レポートの内容 (計4回) で評価する。各単元の配点は25%ずつとし、合計100%で評価する。</p>	
教科書		教科書は使用しない。授業は配布されるレジュメや資料等によって進められる。各自、専用のノートを用意し、各観光用語をまとめるなり、新聞記事のスクラップなどをして、自分なりの観光用語集を作ること。	
参考図書		竹内正人、竹内利江、山田浩之編著、『入門観光学 [改訂版]』、ミネルヴァ書房、2024年。適宜、他の図書も指示する。	
授業に関する質問等の方法		初回授業で担当教員に確認をしてください。	
備考		<p>○履修希望者が多数の場合はクラス増設は行わず、選抜により人数を制限する場合がある。その場合現代社会学部生および観光・地域マネジメントメジャー希望者を中心に選抜することもある。選抜に漏れた場合は次年度以降に受講してもらいたい。</p> <p>○正当な理由なき遅刻、途中退出、授業中の私語は厳禁。</p> <p>○授業内で把握しきれなかった点はそのままにしておくのではなく、積極的に質問し、知識を確かなものとして蓄えること。</p>	
短大同時開講使用欄			